

日本家庭科教育学会 2022年度 第1回地区会代表者会議議事録(案)

日時：2022年6月18日(土) 14:00～

場所：zoomによるオンライン会議

出席者：石垣・加賀(東北)、藤田(関東)、磯崎・福田(北陸)、上野・三輪(東海)、山本・村上(近畿)
鈴木・西尾(中国)、福井(四国)、財津(九州)、
堀内、工藤、鈴木、綿引、渡瀬、鎌野、杉山、川邊、野中、仲田、中西、小清水、永田、岡部、
中山、荒井、志村、佐藤、飯野、望月

欠席者：檜府(関東)、小島(四国)、貴志(九州)、得丸、倉持、萬羽

議長：小松(北海道)

記録：瀬浦(北海道)

配付資料

- ① 2021年度第2回地区会代表者会議議事録(案)
- ② 総会資料(地区会ページのみ)
- ③ 2022-23メルマガ・HP年間計画(理事会報告資料)
- ④ 教科教育学コンソーシアム(理事会報告資料)
- ⑤ 2022年度地区会交付金

◆ 堀内かおる会長から挨拶があった。

I 2021年度第2回地区会代表者会議議事録の承認
承認された。

II 協議事項

1. 全国大会開催の輪番について

2022年度：近畿地区 2023年度：九州地区 2024年度：東北地区

2025年度：中国地区

本協議事項については、継続審議となった。まずは、各地区会からそれぞれの地区の現状について意見を挙げ、今後の全国大会の開催の方法について検討していくこととなった。

2021年度第2回地区代表者会における審議提案事項(全国大会の持続可能な制度設計)に対する理事会の回答について、東北地区より質問があった(2021年第2回地区代表者会議議事録P1 協議事項1参照)。理事会から、引き続き審議中であり、まずは、各地区会からそれぞれの地区の現状について意見を挙げ、今後の全国大会の開催の方法について検討していく旨の回答が示された。大会の持続可能な開催方法や輪番については継続審議とすること、2022年度第2回地区代表者会で理事会より提案があることが確認された。

2. 地区代表者会議の運営について

2022年度：北海道地区 2023年度：近畿地区 2024年度：九州地区
2025年度：東北地区

承認された。

3. 総会議長の輪番について

2022年度：北海道地区 2023年度：東海地区 2024年度：関東地区
2025年度：九州地区

承認された。

4. 関東地区会からの議事

(1) 新規入会者について

・関東地区

入会者の情報は本部から頂いているが、それに加え地区会への入会手続きは別であることについて本部より案内してほしい。

・理事会

入会申込書に案1「地区会にも是非ご入会下さい。なお、地区会への入会は、学会入会とは別に手続きが必要となります」または案2「地区会入会希望者は、別途手続きを行って下さい」の文言を追加することが審議され、承認された。また、新規入会者への会員番号通知の中に、各地区会への入会は別に手続きが必要な旨の文言を加えることとなった。

(2) 退会者について

・関東地区

学会退会者に地区会の退会は、手続きが別であることを案内いただきたい。

・理事会

退会者については、本部で承認した者は各地区会にお知らせする方法を行っていく予定である。

5. 九州地区会からのお尋ね

(1) 電磁的方法の導入状況について

九州地区では事務局の運営を各県輪番で行っているが、会員数の減少や事務局業務の簡略化等の理由から電磁的方法を順次導入していくことを検討している。他の地区会では、会報や地区会開催等の案内をどのように行っているのかお尋ねしたいとのことであった。

※各地区会の取り組みについては、地区会報告の時に併せて説明された。

(2) 地区会役員の選出方法について

九州地区では、役員の選出については投票により行っている。他地区ではどのように選出しているのかお尋ねしたいとのことであった。

※各地区会の取り組みについては、地区会報告の時に併せて説明された。

6. その他

特になし

Ⅲ 報告事項

1. 地区会報告

各地区から昨年度の活動報告、本年度の活動計画、並びに九州地区からのお尋ねに関する報告があった。

・北海道地区

会報誌を発行した。総会は zoom で実施した。北海道地区は会員数が少ない為、研究テーマを設定することが困難であり、最低限の活動しか行うことが出来ていない状況である。

①電磁的方法の導入状況

総会の開催案内に関しては、しばらく前からメールで行っている。また地区の会報は、昨年度まで印刷物を郵送していたが、今年度からメールでの送付に切り替えた。

②地区会役員の選出方法

北海道地区会の会員には非常勤講師や高校教員もいるが、役員の職責を担える環境にあるのは北海道教育大学の現職教員しかいない。札幌校、釧路校、旭川校の3校合わせても人数が少なく、他の関連学会の役員も兼務する状況になっている。そのため選挙ではなく、教員間の相談・調整によって役員を決めている現状である。

・東北地区

コロナ下で対面開催の総会ができなくなってから、退会の手続きが滞っている。現在把握できている会員数は64名である。役員会はオンライン開催、総会はメール会議で行った。研究発表大会は対面で開催する予定だったが、コロナの影響により要旨集での発表をもって発表会とした。

①電磁的方法の導入状況

地区会事務局は6県で輪番となっている(1年交代)。2020年より総会はオンライン開催。今年度も総会・研究発表大会ともにオンライン開催。大会の案内は、メールで送付。メールアドレスを把握できていない会員については郵送で発送している。

②地区会役員の選出方法

各県輪番となっており選挙は行っていない。会長は、担当県の大学内より選出。副会長は、次年度担当県の中から選出している。

・関東地区

昨年度の総会は、書面により実施した。研究会はオンラインで行い、「コロナ禍と家庭科～1年を振り返って～」のテーマで現職の先生より講演いただいた。例会もオンラインで実施し、研究助成の中間報告および講演会を行った。研究助成については、コロナ禍の影響により1年期している。今年度の総会も書面で行う予定であり、現在準備をしている。大会は、「家庭科の魅力と可能性」をテーマに牧野カツコ先生、フジムラチエミ先生をお招きし、オンラインにより実施する予定である。大会は、他地区の会員も参加できるので、ぜひホームページよりお申込み下さいとのこと。

①電磁的方法の導入状況

メーリングリストの整理はしているが、メールアドレスの登録が7割程度しかできておらず、郵送とメールを併用している。選挙用紙、会報は紙媒体であるため郵送している。会員には現場の先生も多く、メールを見ていないことも考えられ、紙媒体での発送が続いている。

②地区会役員の選出方法

副会長と役員選挙を毎年行っている。副会長は次年度会長となる。本学会の理事になられている先生が副会長に選出された場合は、役員の中から補欠選挙で選ぶ。

・北陸地区

昨年度の役員会は、オンラインで開催した。研究発表大会・総会を信州大学にてオンラインで行った。研究発表は5件であった。また2021年10月には授業研究会をオンラインで実施した。2022年8月に研究発表大会・総会を福井大学にてオンラインで実施予定である。

①電磁的方法の導入状況

会報については、紙媒体で全会員へ郵送している。また、会費納入依頼と地区会開催の案内についても郵送で行っている。現段階では、デジタル化の具体的な検討はしていないが、今後は検討していても良いのでは、という意見も上がっている。地区会開催の方式については、令和3年度はオンラインで実施し、4年度も同じくオンラインで実施する予定である。また学会ホームページの地区会のページからも地区会の案内や入会案内を掲載している。

②地区会役員の選出方法

できるだけ6大学で担当出来るように配慮し、選挙は行っていない。北陸地区を6ブロックに分け、輪番を基本として総会で微調整したものを提案して毎年承認している。会長の選出と併せて副会長を選出し、副会長は次年度会長となる。研究大会の実行委員長は、次年度副会長となる。庶務と会計・監査に関しては、会長が依頼し承諾していただいた会員が担う。

・東海地区

昨年度は常葉大学を会場に、オンラインで地区会役員会・総会・研究会を開催した。2件の研究助成を行った。今年度の地区会役員会・総会・研究会については、5月に金城学院大学を会場として対面で開催した。昨年度会報を発行できなかったため、2021年度と2022年度を合わせて、会報第28号を発行する予定である。研究テーマは「なし」から「持続可能な社会の構築につながる家庭科の内容に関する研究」に修正。

①電磁的方法の導入状況

今年度の役員会総会でペーパーレスを目指すことが話し合われ、今後は会報をメール添付で行う予定としている。しかしながら、メールアドレスが分からない会員が3名いるため、その方には郵送により会報誌を送り、メールアドレスの連絡をお願いする。

②地区会役員の選出方法

愛知、静岡、三重、岐阜、の4県で輪番としている。選挙は行っておらず、会員の中で話し合っ、役員を決定している。副会長は次年度会長となる。

・近畿地区

昨年度、全国大会パブリックビューイングの会場を兵庫教育大学神戸サテライトに設定し、行った。また、実践研究発表会を2021年8月に開催し、研究発表会5件と講演会、ワークショップを実施した。年度末に地区会報を発行した。

①電磁的方法の導入状況

郵送で、様々なご案内や会報を送付している。総会や講演会の申し込みについてはGoogle formを利用している。

②地区会役員の選出方法

選挙は行っておらず、各地区での輪番としている。以前は、1府県2年任期であったが、数年前より2府県で合同の形をとって2年間担当する形をとっている。地区代表者は会長、副会長が担当。全国の理事と重なった場合は、地区会の幹事から選出している。

・中国地区

昨年度は、山口大学担当で総会・研究発表会をオンラインで開催した。新共同研究課題として「コロナ禍における家庭科の授業」をテーマとして開始した。2022年8月に総会・研究発表会をハイブリットで開催する予定である。

①電磁的方法の導入状況

山陽側、山陰側の交通の便が良くないとの理由もあり、オンライン方式は地区会活動が活発になることが期待できる。全会員のメールアドレスの把握が出来ていないため、会報は郵送している。

②地区会役員の選出方法

役員の選出は選挙を行っておらず、4県輪番で回している。地区代表者会議には会長、副会長が出席する。

・四国地区

昨年度は、鳴門教育大学担当で総会・研究発表会をオンラインにより実施し、4題の研究発表があった。今年度は、香川大学において、総会・研究発表会を予定しており、役員の先生方は対面、研究発表については、一部オンラインのハイブリットで実施予定である。

①電磁的方法の導入状況

総会の案内、会報、実践研究誌は、郵送で行っている。

②地区会役員の選出方法

以前は輪番で回していたが、役員を担える教員が少ないことから、ここ4~5年は固定化されている状況である。

・九州地区

昨年度の地区会は、琉球大学事務局により初めてオンラインで行った。今年度は、大分大学事務局によりオンライン地区会を予定している。また、2023年度の全国大会実行委員会を立ち上げ、オンライン開催の予定で進めている。

2. 理事会報告

・会長

次年度に向けて、本学会として家庭科養育の基盤となる理論研究の充実に力を入れていきたい。理論研究のプロジェクトを発足させ、社会に向けて発信していきたい。

・庶務

7月2日に行われる総会の中でも各地区会の報告をお願いしたい。また、理事選挙への投票もお願いしたい。

・渉外・広報

・第65回大会サイトにある展示会の方もご覧いただきたい。また、広告バナーのクリックにもご協力いただきたい。

・学会ホームページにある大会サイト案内を先頭に表示するように変更した。

・メルマガに地区会からのお知らせを載せたい場合は、毎月15日まで原稿等をお寄せいただければその月に掲載する。

・学会ホームページに記載されている各地区会の役員について変更があった場合は、事務局にご連絡ください。

・事業

研究発表の座長は、先生方のご専門の分野まで考慮すると、座長が埋まらないという事情があるため、今後は、その点について説明をしたうえで、各地区会代表者に依頼する。

・研究推進

第65回大会で課題研究の中間発表が行われるとのこと。

・教科教育学コンソーシアムについて

・2022年3月13日に第2回シンポジウムがオンラインで開催された。ホームページからも資料がダウンロードできるのでぜひお読みいただきたい。

・ホームページにある加盟学会一覧から、各学会HPへのリンクが貼られ、家庭科教育学会も記載がある。

・5月に開催された今年度第1回目の理事会で研究推進、ジャーナルの発行、シンポジウムのテーマなどについて確認された。

3. 事務局報告

(1) 地区会交付金について

8月末に各地区会に地区交付金を振込予定である。

(2) 新入会員の情報提供について 送信予定6月

新入会員の氏名、所属、郵送先に関する情報を各地区会長にお送りする予定である。

(3) 功労賞授賞式ご出欠について

授賞式には、4名の先生が出席予定である。当日は、高木直先生にご挨拶いただく。

4. その他

特になし

IV. その他

特になし